

令和5年度厚生労働厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）
分担研究報告書

職域における HIV 感染症に関する知識の普及啓発の促進に向けた研究

研究分担者 今橋 真弓

名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部 感染症研究室長

研究分担者 高橋 秀人

帝京平成大学 薬学部 教授

研究要旨

本研究では先行研究の検査機会の有無の HIV やエイズの知識に与える影響、感染リスクにさらされている人々の HIV やエイズの知識、および当院受診中の PLHIV の職域での不適切対応事例を収集することで適切な健康情報取扱規定の策定の基礎資料を作成することを目的とした。本年度は倫理申請を行った。この調査により、検査機会の有無による HIV 基礎知識の違いおよび HIV 感染を理由とした職場の不適切対応事例が収集できると考えられる。

A. 研究目的

抗 HIV 治療薬の進歩により、HIV と共に生きる人々（PLHIV）の長期寿命が期待できるようになった結果、PLHIV と HIV の感染リスクにさらされている人々の QOL 改善や差別偏見やスティグマの撤廃が強化されてきている。特に差別偏見やスティグマの撤廃には HIV やエイズに対する最新かつ科学的に正しい知識の普及啓発が不可欠である。

我々は先行研究で、職域では、平成 30 年 3 月の内閣府「HIV 感染症・エイズに関する世論調査（以下内閣府調査）」時と変わらずエイズの知識の普及啓発が進んでいないことを明らかにした。また研究協力機関に対し、郵送検査キットによる HIV スクリーニング検査機会の提供と同時に HIV 感染症・エイズについての講演も行ってきた。

本研究では先行研究の検査機会の有無の HIV やエイズの知識に与える影響、感染リスク

にさらされている人々の HIV やエイズの知識、および当院受診中の PLHIV の職域での不適切対応事例を収集することで適切な健康情報取扱規定の策定の基礎資料を作成することを目的とした。

なお、本年度は倫理申請・承認までを行った。

B. 研究方法

前向き研究で研究対象者について、アンケートフォームの URL を送付し、回答を得る。

研究対象者ごとのアンケートフォーム URL およびアンケート内容

- ① 検査機会のあった企業の従業員（表①・②）

URL:<https://forms.gle/weic95h3CPTbc3Ps8>

- ② 性感染症（以下 STI）リスクの高い女性（咲江レディスクリニック受診者）（表①・②）

URL:<https://forms.gle/tWAuneku91wqsDrs9>

③ 名古屋医療センター感染症内科に定期通院中の患者（表③）

URL:<https://forms.gle/UPVzKz79MxZ4fvNk9>

インタビューに参加できる患者からはアンケートフォーム上で診察券番号の記載により、インタビュー参加の同意を得る。インタビュー内容は下記の通りである。

PLHIV について

HIV ステータス開示の有無（いつ・誰に）

診断年・投薬開始の有無

不適切対応事例について

いつ：感染前・後、HIV ステータス開示前・後

誰から：職場であれば職位

どのように：自由回答

④ 検査機会のなかった企業の従業員（表①・②）

URL:<https://forms.gle/pyz6M5N9kfkHvPnB9>

評価項目

主要評価項目：HIV の知識の普及率

副次評価項目：職場における HIV 感染による不利益事例

統計的事項

目標回答数：

①300 例 ②300 例 ③300 例 ④300 例

設定根拠：

対象者①④については先行研究で同じ対象者にアンケートを行った際の回答者数より算定。

対象者②についてはクリニックの月間の受診者数より算定。

対象者③については当科定期通院者 1500 人程度のうち 20%が回答するとして算定。

統計解析の方法

主要評価項目については Pearson のカイ 2 乗検定を用いる。共変量の調整のために Logistic 回帰分析を行う。

副次評価項目については対象患者③のインタビュー調査を行った場合は、質的研究でキーワードを抽出する。

（倫理面への配慮）

アンケートはすべて匿名検査で行う。ただし、インタビュー参加の患者については診察券番号情報を取得した。名古屋医療センターの倫理審査を申請した。

C. 研究結果

倫理申請が許可され次第、アンケート調査を開始する。

D. 考察

①～④のアンケートに共通した患者背景事項をアンケートで聴取する。

検査機会提供の有無で HIV 知識の差が認められるかを調査するために、企業に対してアンケートを行う予定であるが、そもそもアンケートに回答する回答者は HIV 感染症に対し、日頃より情報収集を行っている人が自発的に回答する可能性もある。選択バイアスについても考慮しなくてはならないだろう。

③の当院通院患者に対するアンケート調査では自身の HIV ステータス開示を行った場合を想定して質問を作成した。しかし生島らの調査によると職場で PLHIV が自身の HIV ステータスを開示している割合はおよそ 10%である。よって、予想より職場不適応事例を経験した PLHIV が少ない可能性がある。

インタビュー調査では HIV ステータスを開示していない PLHIV の協力も得られることを期待する。特に HIV ステータスを開示してなくても、職場で HIV に関するスティグマや差別を間接的に経験し、開示を断念したケースもある。PLHIV の属性によって経験する不適切

対応事例に特徴が認められるかをインタビュー調査から明らかにする予定である。

E. 結論

次年度から行うアンケート調査の倫理申請を行った。それぞれのアンケートの限界とバイアスを考慮した結果の解釈が必要である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Masuda, M., Ikushima, Y., Ishimaru, T., Imahashi, M., Takahashi, H., & Yokomaku, Y. (2023). [Current Issues of Laws Concerning HIV/AIDS Control in the Workplace]. *Sangyo Eiseigaku Zasshi*. <https://doi.org/10.1539/sangyoeisei.2023-007-W>
- 2) Mizuki, K., Ishimaru, T., Imahashi, M., Ikushima, Y., Takahashi, H., Masuda, M., & Yokomaku, Y. (2023). Workplace factors associated with willingness to undergo human immunodeficiency virus testing during workplace health checkups. *Environ Health Prev Med*, 28, 52. <https://doi.org/10.1265/ehpm.23-00054>
- 3) Nakata, Y., Ode, H., Kubota, M., Kasahara, T., Matsuoka, K., Sugimoto, A., Imahashi, M., Yokomaku, Y., & Iwatani, Y. (2023). Cellular APOBEC3A deaminase drives mutations in the SARS-CoV-2 genome. *Nucleic Acids Res*, 51(2), 783-795. <https://doi.org/10.1093/nar/gkac1238>
- 4) Otani, M., Shiino, T., Hachiya, A., Gatanaga, H., Watanabe, D., Minami, R.,

Nishizawa, M., Teshima, T., Yoshida, S., Ito, T., Hayashida, T., Koga, M., Nagashima, M., Sadamasu, K., Kondo, M., Kato, S., Uno, S., Taniguchi, T., Igari, H., . . . Kikuchi, T. (2023). Association of demographics, HCV co-infection, HIV-1 subtypes and genetic clustering with late HIV diagnosis: a retrospective analysis from the Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network. *J Int AIDS Soc*, 26(5), e26086.

<https://doi.org/10.1002/jia2.26086>

- 5) Uno, S., Gatanaga, H., Hayashida, T., Imahashi, M., Kikuchi, T. (2023). Virological outcomes of various first-line ART regimens in patients harbouring HIV-1 E157Q integrase polymorphism: a multicentre retrospective study. *J Antimicrob Chemother*. <https://doi.org/10.1093/jac/dkad319>

2. 学会発表

1. 今橋真弓 「HIV検査体制にみる「困った」と「やってみる」の話」第97回日本感染症学会総会・学術講演会・第71回日本化学療法学会学術集会 合同学会 シンポジウム「HIV感染症における現場の課題と解決へのアプローチ」2023年4月28日（横浜）
2. 今橋真弓 「めざせ！「三方良し」のHIV検査体制」令和5年度第1回中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会 2023年7月21日（香川）
3. 今橋真弓 「HIV診療を通してみる在日外国人の医療」第93回日本感染症学会西日本地方学術集会・第71回日本化学療法学会西日本支部総会合同学会シンポジウム7【在日外国人の感染症を考える】2023年11月10日（富山）
4. 今橋真弓 「iTesting を用いたHIV 検査から見えてきた「壁」」第37回日本エイズ学会学術集会・総会 シンポジウム5（社・S）2023年12月4日（京都）

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

表①：回答者属性に関する質問

質問内容	選択肢
1) 現在のあなたの年齢をお答えください。(小文字数字)	
2) あなたの生まれた時の性別をお答えください。	男性
	女性
	その他
3) あなたの婚姻状況をお知らせください。	現在結婚している。
	離別、死別
	未婚（過去に結婚したことがない）
4) あなたの学歴（最後に卒業した学校）を教えてください。	中学校
	高校
	専門学校
	短大・高専
	大学
	大学院
5) 現在のお仕事の状況を1つ選んでください。2つ以上該当する方は、もっとも当てはまる1つをお答えください。	1. 会社勤務（一般社員）
	2. 会社勤務（管理職）
	3. 会社経営（経営者・役員）
	4. 公務員・教職員・非営利団体職員
	5. 派遣社員・契約社員
	6. 自営業（商工サービス）
	7. SOHO
	8. 農林漁業
	9. 専門職（弁護士・税理士等・医療関連）
	10. その他の職業
	11. パート・アルバイト

	12. 専業主婦・主夫
	13. 学生
	14. 無職
6) あなたの勤務先の業種にもっとも近いものを教えてください。(5)で1~11を選択した方のみ)	公務
	製造業
	医療・福祉
	卸売業・小売業
	宿泊業・飲食サービス業
	建設業
	情報通信業
	運輸業・郵便業
	電気・ガス・熱供給・水道業
	金融業・保険業
	不動産業・物品賃貸業
	教育・学習支援業
	学術研究・専門・技術サービス
	農業・林業・漁業
	鉱業
	生活関連サービス業・娯楽業
	その他サービス業
7) あなたと同居する家族は何人ですか？(あなたを除く)	0人
	1人
	2人
	3人
	4人
	5人
	6人以上
8) あなたの世帯年収(額面、税引き前)はいくらですか？	200万円未満

	200～299 万円
	300～399 万円
	400～499 万円
	500～599 万円
	600～699 万円
	700～799 万円
	800～899 万円
	900～999 万円
	1000 万円以上

表②：HIV 知識に関する質問

HIV は、感染している人と握手をしても感染しない	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、感染している人と話をしても感染しない	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、感染している人と一緒に仕事をしても感染しない	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、感染している人と食器を共用しても感染しない	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、感染している人とキスをしても感染しない	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、感染している人と一緒に温泉などに入浴しても感染しない	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、感染している人と無防備に性行為を行った場合、感染することがある	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、感染している人とカミソリやピアス、注射器などを共用した場合に感染することがある	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、感染している人の血液や精液、膣分泌液に触れることで感染する	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、性行為の際にコンドームを使用すれば感染の可能性を低くできる	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、適切に治療することにより他の人への感染を予防することができる	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、蚊によってうつされることはない	1:知っていた 2:知らなかった
HIV は、血液検査によって感染しているかどうか分かる	1:知っていた 2:知らなかった
保健所では無料で HIV 検査が受けられる	1:知っていた 2:知らなかった
HIV には現在、感染予防のためのワクチンがない	1:知っていた 2:知らなかった
健診などで異常がなくても、HIV に感染していることがある	1:知っていた 2:知らなかった
特に自覚症状がなくても、HIV に感染していることがある	1:知っていた 2:知らなかった

健康そうに見えても、HIVに感染していることがある

1:知っていた 2:知らなかった

表③：当院通院患者に対する質問

HIV治療を開始してどれぐらいになりますか？一番近いものを教えてください。	5年未満
	10年未満
	15年未満
	15年以上
	未治療
<p>職場での経験について</p> <p>以下の質問は職場におけるHIV・エイズに関連した経験について回答をお願いいたします。「はい」または「いいえ」でお答えください。なお文中のHIVステータスとは「HIVに感染していること」を意味しています。</p>	
1) 雇用主または上司または同僚にあなたのHIVステータスを公表したことがありますか？	はい
	いいえ
2) 雇用主または上司からHIVステータスに基づいてネガティブな結果や差別的な行動に直面したことはありますか？	はい
	いいえ
3) HIVステータスに基づく同僚からのスティグマや差別を経験したことがありますか？	はい
	いいえ
4) HIVステータスによる昇進やキャリア形成に障壁を感じたことはありますか？	はい
	いいえ
5) HIVステータスのために雇用機会が拒否されたり、仕事を見つけるのに困難を経験したことがありますか？	はい
	いいえ
6) 職場のHIVおよび差別に関するポリシーやガイドラインについて知っていますか？	はい
	いいえ

7) 職場で HIV ステータスに関する機密の漏洩に直面したことはありますか？	はい
	いいえ
8) 職場から HIV ステータスに関して、適切な配慮やサポートを受けたことはありますか？	はい
	いいえ
9) HIV ステータスによる職場でのいじめ、嫌がらせ、または口頭での暴言に直面したことはありますか？	はい
	いいえ
9) HIV ステータスによる職場でのいじめ、嫌がらせ、または口頭での暴言に直面したことはありますか？	はい
	いいえ
10) 職場で実際に HIV ステータスによる不利益を経験した例をお持ちの方は、下記に具体的に記入してください。HIV 陽性と分かる前または診断後のことか明記していただけますとありがたいです。	自由記載